

平成 18 年 2 月 24 日

図書館情報専門学群学生各位

図書館情報メディア研究科教育・研究支援委員会
システム管理グループ

メインコンピュータシステムから教育用等計算機システムへの移行について（第二版）

メインコンピュータシステム（以下、メインシステム）は 2006 年 2 月末で運用を停止します。学群教育用の計算機システムは、今後、学術情報メディアセンターが全学に提供している教育用計算機システム（以下、教育用システム）になります。

メインシステムのユーザ名とメールアドレスはメインシステム終了と共に使用できなくなります。新システムでは、教育用システムのユーザ名（s または u+学籍番号下 7 桁）を使用して端末にログインし、同システムのメールアドレス（ユーザ名@ipe.tsukuba.ac.jp）を使います。なお、教育用システムのユーザ名はマルチメディア計算機システムのユーザ名と同じですが、パスワードが異なります。

このお知らせでは、メインシステムから教育用システムへの移行手順を説明します。混乱を避けるため、メインシステムから現行の教育用システムへの移行（現時点では完了）、現行教育用システムから新教育用システムの移行（3 月）の二段階で移行をしていただきます。

第一段階（現行教育用システムへの移行）でお願いする作業

アカウントの配布と初期パスワードの変更

- ① 教育用システムのアカウントとパスワードを 12 月 2 日（金）から春日ランチで配布しています（要、学生証）。即日利用可能であり、最初のログインは、別紙の手順 I のように行って、必ず初期パスワードを変更してください。

<http://www.ipe.tsukuba.ac.jp/ch-passwd.html>

電子メール

- ① 教育用システムの Web メール <https://wmail.ipe.tsukuba.ac.jp/activemail/login/> にアクセス（教育用システムのユーザ名とパスワードを入力してログイン）して、自分のメインシステムのメールアドレスにメールを送信します。そのメールが教育用システムで正常に受信できていることを確認してください。
- ② 必要なら、教育用計算機システムから他のメールアドレスへのメール転送を設定してください。（別紙 手順 II）
- ③ メインシステムのメールフォルダを現・教育用システムのメールフォルダにコピーしてください（別紙 手順 III）。コピーを作成しなかった場合、2 月 28 日 18 時で古いメールフォルダは消去されます。

- ④ 今後は、マルチメディア計算機システムの端末等を使用して、教育用システムの Web メール <https://wmail.ipe.tsukuba.ac.jp/activemail/login/> でメールを使ってください。(自分でマルチメディア計算機システムの Outlook を設定して読むのも可)

Web サーバ

- ① 現在の URL (<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~メインユーザ名/>) は、2月27日午前で無効となります。今後は教育用システムの Web サーバをご利用ください(別紙 手順 IV 後半)。教育用システムの URL は <http://www.ipe.tsukuba.ac.jp/~教育用ユーザ名/> です。公開のための申請は必要ありません。
- ② 現 Web サーバのコンテンツ (/www 以下のファイル) は2月28日18時で消去されます。

ユーザデータ

- ① UNIX サーバ(uni)のユーザファイルは2月28日18時以降に消去されます。保存が必要な人は、それまでに自分自身でコピーを作成してください(別紙 手順 IV 前半、ただしこの手順では uni の初期設定ファイル群(ピリオドで始まるファイル・フォルダ)はコピーしません)
- ② Windows サーバ(toro)のユーザファイルも2月28日18時で消去されます。保存が必要な人は自分自身でコピーを作成してください(別紙 手順 V)
- ③ アプリケーションの諸設定(ブックマーク、アドレス帳など)の移行に関しては、各アプリケーションのヘルプ等をご覧ください

メインシステムと教育用システムの相違点

		メイン	教育用
筑波大 入学者	学籍番号	入学年4桁+部局2桁+連番3桁 例：200313012	
	ユーザ名	英字1字+学籍番号下3桁 大学院生は任意のユーザ名 例：p012	s+学籍番号下7桁 例：s0313012
	メールアドレス	ユーザ名@slis.tsukuba.ac.jp 例：p012@slis.tsukuba.ac.jp	ユーザ名@ipe.tsukuba.ac.jp 例：s0313012@ipe.tsukuba.ac.jp
図情大 入学者	学籍番号	入学年4桁+連番3桁(1999年以前の入学者は入学年下2桁) 例：2002012, 99012	
	ユーザ名	英字1字+学籍番号下3桁 大学院生は任意のユーザ名 例：m012	u+学籍番号 例：u2002012 u99012
	メールアドレス	ユーザ名@slis.tsukuba.ac.jp 例：m012@slis.tsukuba.ac.jp	ユーザ名@ipe.tsukuba.ac.jp 例：u2002012@ipe.tsukuba.ac.jp

	メイン	教育用
パスワードの寿命	17 週 (119 日)	180 日
ファイルのアクセス権限 (初期値)	本人のみ (umask 077)	全員読み取り可 (umask 022)
ファイルのクォータ	UNIX 400MB Windows 700MB Web 120MB メール 300MB	全体で 500MB (本来, 現システムの制限は 100MB だが, 図情学生用に特別枠を設定)

別紙

I. 現行教育用システムの最初のログインとパスワードの変更

春日地区に教育用システムの端末が配置されていないため、ログインやパスワードの変更は、すべて SSH でログインした UNIX 環境で行います。uni から ssh で教育用システムのサーバ (icho.ipe.tsukuba.ac.jp) にログインします。パスワードは 6 文字以上 8 文字以内で、2 文字以上の英字と 1 文字以上の数字を含めてください。

uni で接続する方法：

- ① ssh で icho に接続
ssh -l 新ユーザ名 icho.ipe.tsukuba.ac.jp
- ② ssh のホスト鍵が登録されていない旨の警告が表示されるので、以下の例の fingerprint と同じであることを確認して、「yes」と入力して return キーを押す
- ③ 通知用紙の初期パスワードを入力して return キーを押す
- ④ パスワードを変更するため、「passwd」と入力して return キーを押す
- ⑤ 最初に初期パスワードを入力して return キーを押す
- ⑥ 次に新しいパスワードを入力して return キーを押す
- ⑦ もう一度新しいパスワードを入力して return キーを押す
- ⑧ 変更成功すると「Password changed for user ユーザ名」と表示される

操作例 (s0313012 は架空のユーザ名。自分のユーザ名に置き換えて入力すること)

```
tosimori@uni% ssh -l s0313012 icho.ipe.tsukuba.ac.jp ←①
The authenticity of host 'icho.ipe.tsukuba.ac.jp (130.158.65.1)' can't be
established.
RSA key fingerprint is 04:c8:e8:00:be:f2:b4:8a:45:ab:8d:b0:ac:20:d0:a0.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes ←②
Warning: Permanently added 'icho.ipe.tsukuba.ac.jp,130.158.65.1' (RSA) to the
list of known hosts.
s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp's password: ***** ←③ (*は表示されません)
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.7 Generic October 1998
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.7 Generic October 1998
Your Terminal is vt100(3).
icho% passwd ←④
Old SMB password:***** ←⑤
New SMB password:***** ←⑥
Retype new SMB password:***** ←⑦
Password changed for user s0313012 ←⑧
icho%
```

II. 教育用システムでのメール転送の設定

- ① ssh を使って icho にログインする (方法は I を参照)
- ② echo コマンドを使って転送用設定ファイル (.forward) を作成する
echo "転送先メールアドレス" > .forward[return]
- ③ cat コマンドで .forward の内容を表示させて、設定が正しいことを確認する
- ④ ここで必ずテストメールを送信して、正しく転送先にメールが届くか、しばらく待ってもエラーが発信元に返送されないかの二点を確認する (混乱を避けるため、テ

ストメールの発信元は転送先以外のメールアドレスにすること)。

お願い：絶対にメインシステムへの転送は設定しないでください。

転送の設定例(サーバにメールを残さず, kasuga.taro@home.anywhere.ne.jp へ転送する):

```
Last login: Tue Nov 29 22:58:00 2005 from 133.51.16.237
Your Terminal is vt100(7).
icho% echo "kasuga.taro@home.anywhere.ne.jp" > .forward
icho% cat .forward
kasuga.taro@home.anywhere.ne.jp
icho%
```

III. メインシステムから教育用システムへのメールフォルダのコピー

- ① toro 上で outlook を起動, 「ツール」メニューから「電子メールアカウント」を選択
- ② 「既存の電子メールアカウントの表示と変更」を選択して「次へ」をクリック
- ③ 「mail.ipc.ulis.ac.jp」を選択して, 「変更」ボタンをクリック
- ④ 「受信メールサーバ(IMAP)」を「mail.ipc.ulis.ac.jp」から「anago.slis.tsukuba.ac.jp」に変更して「次へ」をクリック
- ⑤ 「新しい電子メールアカウントの追加」を選択して「次へ」をクリック
- ⑥ 「追加」ボタンをクリック
- ⑦ 「IMAP」を選択して, 「次へ」をクリック
- ⑧ 「電子メールアドレス」に教育用システムのメールアドレスを, 「受信メールサーバ」と「送信メールサーバ」に「icho.ipe.tsukuba.ac.jp」を, 「ユーザ名」に教育用システムのユーザ名をそれぞれ入力し, 「次へ」ボタンをクリックする

電子メール アカウント

インターネット電子メール設定 (IMAP)
電子メール アカウントを使用するには、以下の項目をすべて設定してください。

ユーザー情報	サーバー情報
名前(N): Taro Kasuga	受信メール サーバ (IMAP)(I): icho.ipe.tsukuba.ac.jp
電子メール アドレス(E): t12012@ipe.tsukuba.ac.jp	送信メール サーバ (SMTP)(O): icho.ipe.tsukuba.ac.jp

ログオン情報

ユーザー名(U): s0312012

パスワード(P):

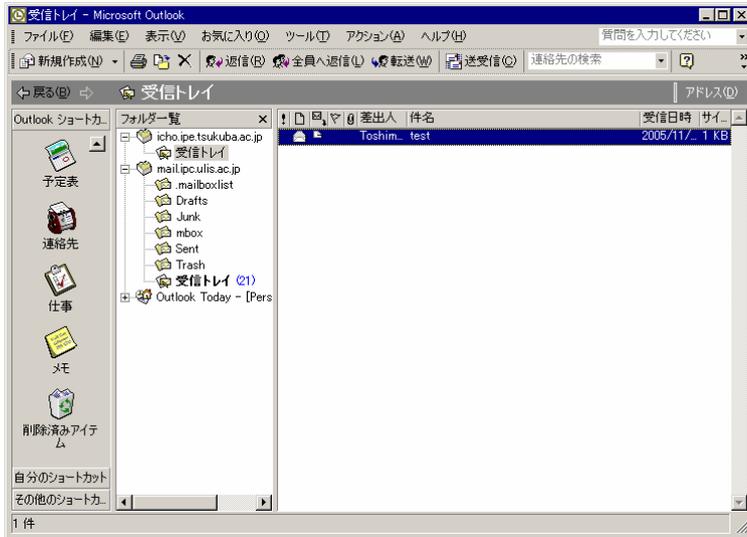
パスワードを保存する(S)

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でログオンする(L)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- ⑨ セットアップが完了した旨が表示されるので「完了」ボタンをクリックする
- ⑩ 「接続しているサーバは…」と警告が表示されるが「はい」をクリックする
- ⑪ パスワードを確認するダイアログが表示されるので, 教育用システムのパスワードを入力する. 「フォルダー一覧」が表示され, メインシステムのメールフォルダ (mail.ipc.ulis.ac.jp) と教育用システムのメールフォルダ (icho.ipe.tsukuba.ac.jp) の両方が表示される



- ⑫ 「icho...」を右クリックし、「フォルダの作成」を選択する

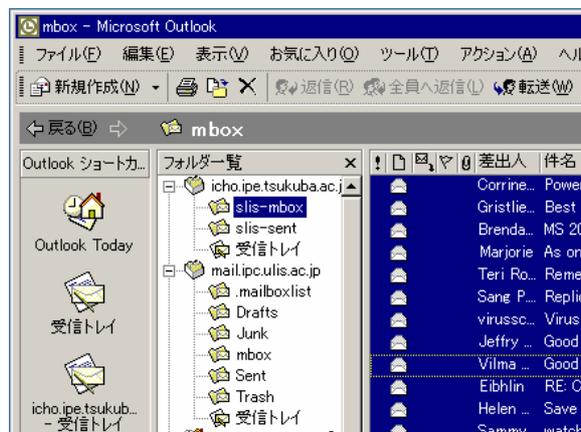


- ⑬ 「名前」に適切なフォルダ名を入力して「OK」ボタンをクリックする



- ⑭ Outlook バーに追加するかを確認してくるので「いいえ」をクリックする
- ⑮ 「mail.ipc.ulis.ac.jp」からコピーしたいメールフォルダを開き、フォルダ内のメールを全て選択して、先に作成した icho 上のフォルダにドラッグアンドドロップで移動させる（注意：mail.ipcの「受信トレイ」と「mbox」は同じフォルダが二重に表

示されているものです)



IV. ユーザファイルのコピー (UNIX)

教育用システムでは Web 公開用のコンテンツはユーザのホームディレクトリの「www」というフォルダ内に置くことになっています。メインシステムの公開用ディレクトリ内の必要なファイルを、icho の「www」内にコピーしてください。コピーには scp コマンドを使います。

教育用システムでは ulisonly の機能は提供されません。引き続き春日地区のみのアクセス制限をかけたのであれば、当該ディレクトリごとに「.htaccess」という名前の設定ファイルを作成し、133.51.0/19 (春日キャンパス) 以外からのアクセスに拒否を返すように設定してください。ただし、図情図書館や 3 月に導入される実習室の新しい端末からもアクセスできなくなります。東京サテライト教室、春日地区実習室、図情図書館教育用端末、図情図書館利用者用端末をそれぞれ許可するためには、4 行目から 7 行目の許可が必要です (設定ファイルの見本は次ページ)

操作例 (s0313012 は架空のユーザ名。自分のユーザ名に置き換えて入力すること)

```
p012@uni% cd
p012@uni% scp -pr * s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp:~
s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp's password: ***** (*は実際には表示されない)
Art. INI                               100% 863 0.8KB/s 00:00
Book1.xls                               100% 583KB 583.0KB/s 00:00
...
univ2.csv                               100% 327KB 326.6KB/s 00:00
p012@uni% cd /www/p/p012/public_html
p012@uni% scp -pr * s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp:www
s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp's password: *****
index.html                              100% 863 0.8KB/s 00:00
test1.gif                               100% 583KB 583.0KB/s 00:00
...
test9.gif                               100% 327KB 326.6KB/s 00:00
p012@uni%
```

.htaccess の例

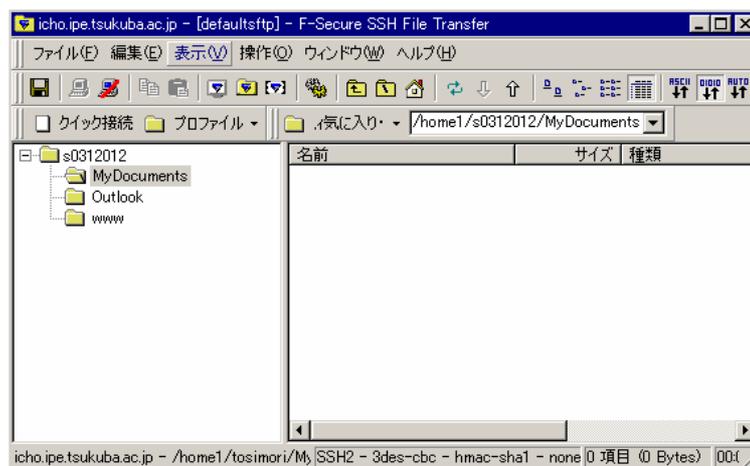
```
Order deny,allow
Deny from all
Allow from 133.51.0/19
Allow from 130.158.179.64/26          ←東京サテライト
Allow from 130.158.47/24            ←実習室（教育用）
Allow from 130.158.46.192/26       ←図情図書館（教育用）
Allow from 130.158.63/24           ←図情図書館（図書館）
```

V. ユーザファイルのコピー（Windows）

教育用システムでは Windows のユーザファイルは、各ユーザのホームディレクトリの「MyDocuments」というフォルダ内に置くことになっています。メインシステムのマイドキュメント内の必要なファイルを、icho の「MyDocuments」内にコピーしてください。メインシステムのデスクトップ上に置かれたファイルはマイドキュメント内の「Desktop」というフォルダに格納されています。現・教育用システムではデスクトップにユーザファイルを置くことはできません。

教育用システムのファイル容量はメールフォルダなども含めて 500MB です。本当に必要なファイルだけをコピーしないと、容量制限を超過してコピーできないことがあるので、注意してください。

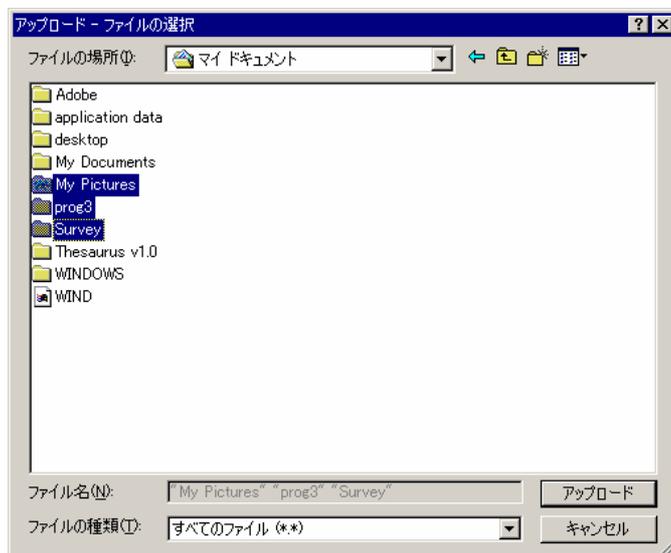
- ① スタートメニューから「プログラム」→「F-Secure SSH クライアント」→「F-Secure SSH ファイル転送」を選択する
- ② 「クイック接続」ボタンをクリックする
- ③ 「ホスト名」に「icho.ipe.tsukuba.ac.jp」、ユーザ名に教育用システムのユーザ名を入力し、「接続」ボタンをクリックする
- ④ ツールバーの右端で「自動選択 (AUTO)」アイコンが押し下げられた状態になっているので、左隣の「バイナリ (01010)」アイコンをクリックする



- ⑤ 「アップロード (↑)」アイコンをクリックする
- ⑥ 「ファイルの場所」を「マイドキュメント」に変更し、コピーしたいファイルやフォルダを選択する。「アップロード」ボタンをクリックする

注意：Adobe, application data, My Documents, WINDOWS, WIND の各ファイル、フォルダはシステムが自動生成する設定ファイル群で教育用システムにコピーする必要はありません。

Thesaurus v1.0はCD-ROM 検索でJICSTシソーラスを使用すると作成される辞書ファイル群で、容量が大きい上、教育用システムでは使用できないのでコピーしないでください。



- ⑦ アップロードが完了したら「閉じる」ボタンをクリックし、SSH ファイル転送クライアントを終了する。